

第 2 回支援対象活動及び実施者等の計画書

受付番号 20-1

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	山口大学工学部 山本 浩一
--------	---------------

2. 活動計画

活動区分	■ 調査研究・モニタリング
活動名	UAV を用いたカブトガニ産卵状況・幼生数調査
活動目的	カブトガニの産卵状況や幼生の数を UAV を用いて計測する技術を確立する。
活動場所	山口湾
活動内容 ・計画	<p>これまで榎野川河口域干潟再生協議会ではカブトガニ幼生の調査が続けられているところであるが、2020 年度は新型コロナウイルスの影響により調査ができるかどうか危ぶまれる。そこで人間による調査に代わる手段が必要であると考えられる。調査を行う代替の技術として UAV による超低空写真撮影（5m 程度）によりカブトガニ幼生を調査する技術を確立するとともに、これまで産卵泡や成体の確認を目視で行っていたところを UAV による写真撮影によりデータを取得、モザイク写真を生成して成体数や産卵場所の高精度化をはかる。</p> <p>5 月：カブトガニの幼生を画像から抽出する画像解析アルゴリズムを開発開始 6 月：満潮時に山口湾においてカブトガニの産卵状況を UAV で撮影するとともに作業員が目視で計数する。 7 月-9 月：低空撮影によりカブトガニ幼生を撮影するとともに作業員が同一測線上の幼生を計測し比較する。一斉調査を行う場合は熟練者との同一測線における調査を行う。 10 月：完成した幼生抽出アルゴリズムを適用して幼生数を計数、マッピングを行う。</p>

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	干潟・水産資源再生 WG (主体：水産大学校生物生産学科沿岸生態系保全研究室 南條 楠土)
--------	--

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング																				
活動名	干潟に生息する肉食性巻貝と二枚貝の捕食－被食関係の解明																				
活動目的	アサリをはじめとする水産上有用な二枚貝資源の回復を目指した研究として、それらの捕食者である肉食性巻貝による二枚貝捕食の実態を明らかにすることを目的とする。																				
活動場所	樫野川南潟																				
活動内容・計画	<p>これまでの成果により、肉食性巻貝であるアカニシとサキグロタマツメタは、貝殻が薄く、捕食時間の要さない二枚貝種を積極的に捕食することがわかった。これにより、干潟の巻貝には餌に対する選択性があることが判明した。これは、フィールドにおいて嗅覚などを用いて餌種を探索し、捕食していることを示唆する。しかし、これらの巻貝が実際にどのように餌を探索するかはまだよくわかっていない。そこで今年度には、肉食性巻貝による二枚貝への誘因効果を室内実験で検討することを目的とする。</p> <p>まず、フィールドで実験対象とする巻貝と二枚貝を採集する。次に、自作した実験水槽の中央に巻貝，両端に二枚貝を設置し，巻貝がどちらに移動するかを調べることで誘因の有無を検討する。これを二枚貝生貝，死貝，二枚貝飼育海水（ゼラチンで固めたもの），餌なしの組み合わせを変えて実施し，巻貝がどの要因によって二枚貝に誘引されるかを検討する。なお，実験時には水槽の両端から水流を流し，巻貝が餌の匂いを検知するよう工夫する。</p> <p>年間スケジュール：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4～6月</th> <th>7～9月</th> <th>10～12月</th> <th>1～3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野外調査</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>室内実験</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>そのほか</td> <td></td> <td>学会発表</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	野外調査	○	○			室内実験	○	○	○	○	そのほか		学会発表		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月																	
野外調査	○	○																			
室内実験	○	○	○	○																	
そのほか		学会発表																			

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	干潟・水産資源再生ワーキンググループ (山口県環境保健センター環境科学部、自然保護課)
--------	--

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	① 底生生物モニタリング調査 ② 被覆網への藻の付着影響調査 (主体：山口県環境保健センター・県自然保護課)
活動目的	① 干潟の底質環境や生物多様性の向上を目的とした自然再生活動等の効果を評価するため、アサリをはじめとした底生生物調査を実施する。 ② 被覆網によるアサリ再生活動について、より良い生育環境の創出や作業負担の減少などに資するため、網への藻の付着による底質環境等の変化が、アサリの生育に与える影響を検討する。
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）
活動内容・計画	① 底生生物モニタリング調査 四半期ごとに、50 cm 四方のコドラート、5 mm メッシュフルイを用い、被覆網下の底質に生息する底生生物の同定及び個体数の計数を行う。なお、アサリは、殻長組成についても調査する。調査地点等は今後決定する。 ② 被覆網への藻の付着影響 被覆網に付着した藻は、夏場の腐敗、被覆網への砂の堆積や被覆網の捲れなど、底質に生息するアサリ等の生育に悪影響を与えることが懸念されている。このため、定期的に網を交換しているが、藻の付着した網は重く、作業者の大きな負担となっている。そこで、昨年度に引き続き、藻が付着したままの網と適宜交換する網（藻の付着がない網）下の四半期ごとのアサリの個体数調査及び底質調査を実施する。

3. 活動予算

申請金額	200,000 円		
予算の支出期間	2020年5月 ～ 2021年2月 ※ 対象となる活動は2020年度内に実施されるものに限りますが、当該活動の実施のみに必要な経費であって、既に支出した備品・消耗品費、広告費等については支援の対象とします(旅費・宿泊費・謝金を除く。)		
希望する支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (200,000 円)		
支出予算	応募案内中の表1: ①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	
	内訳(積算根拠)		
	消耗品費	20,000	ORP電極 1本
	消耗品費	20,000	pH電極 1本
	消耗品費	60,000	胴長 4つ
	消耗品費	34,000	被覆網 8枚
	消耗品費	20,000	検知管(硫化物測定用) 10箱
	消耗品費	40,000	ふるい5mm 2個
	消耗品費	6,000	採泥容器 15個
	合計	200,000	

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	干潟・水産資源再生ワーキンググループ (NPO法人野鳥やまぐち)
--------	-------------------------------------

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	きらら浜自然観察公園 アサリ生育場所の造成
活動目的	<p>山口湾内ではアサリ資源の再生の活動が行われているが、ナルトビエイなどによる食害があり、被覆網の設置により食害を防ぐことで、アサリの生育を保っている。きらら浜自然観察公園は阿知須干拓地内にあり、水門を通じて海水を出し入れするため園内にはアサリの天敵となる生物は少ないと考えられる。園内の汽水池に海砂を投入することでアサリが好む砂質干潟を造成し、山口湾周辺の母貝団地として機能していくことを目指す。</p>
活動場所	<p>きらら浜自然観察公園内には8haの干潟が整備されているが、大部分は泥質干潟で砂質干潟の面積が小さい。海砂を投入する予定の場所は汽水池の南東側で、岸边には砂が堆積しており、砂質を好むアサリやハクセンシオマネキなどが確認されているが、干潮時に裸出する面積が小さく、園路から降りやすい場所でありながら環境学習などに利用されることが少ない。海砂を投入して砂質干潟を好む生物の生息環境をつくることで、アサリの生育場所としてだけでなく、子どもたちの環境学習の場として活用できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>汽水池</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>海砂投入前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海砂投入後 2020年3月撮影</p> </div> </div>

活動内容 ・計画	<p>2019年度の活動では、2月に海砂 22.5t を投入し、底質や底生生物の調査については3月に1回実施。底生生物については海砂を投入したばかりで、まだ生物の定着は進んでいない。底質の変化については山口県環境保健センターに依頼し、底質を採取し現在解析中。今後は状況変化を調べるため、月に1回ほど底生生物と底質の調査を実施予定。</p> <p>2020年度の活動内容・計画については下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汽水池内に海砂を継続して投入し、砂質干潟の拡大を図る。 ・底生生物と底質の調査を月に1回実施し、状況変化を調べる。 ・砂質干潟の一部に被覆網を設置することで食害の有無を調べる。 ・砂質干潟にアサリや底生生物が定着すれば、潮干狩りや生き物観察会などの行事を開催する。 <p>※海砂投入目安 2トントラック1台につき：12,000円 有限会社枝村商会(宇部市港町)</p>
-------------	---

3. 活動予算

申請金額	200,000円	
予算の支出 期間	2020年4月 ～ 2021年3月	
希望する 支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input type="checkbox"/> 概算払い (円)	
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。	
	区分	予算額(円)
	消耗品費	192,000
	貸借料	4,000
	消耗品費	4,000
合計		

海砂 (12,000円/2トントラック×16台分)
 ※2019年度では個人所有のトラックで運搬していたが、2020年度では業者に依頼予定。

エンジンポンプのレンタル料
 海砂を汽水池に投入する際に使用。

アサリ生育調査用
 (1m×1m被覆網 3,000円)
 (ペグ1本 100円×10本)

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	干潟・水産資源再生ワーキンググループ (国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 生産環境部 干潟生産グループ 重田 利拓・辻野 睦)
--------	---

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング <input checked="" type="checkbox"/> 活動等の広報及び啓発活動
活動名	干潟域を生活史で利用する魚類の生態と成育場の生息環境に関する研究
活動目的	干潟域を成育場等として利用する魚類の食性など生態調査により、干潟の鍵種であるアサリ、シジミ等砂浜性二枚貝の捕食（食害）状況を把握するとともに、これらが生息する干潟の生息環境を生物指標を用いて把握する。これら環境・水産重要魚種の資源回復・再生のための基礎的知見を得る。
活動場所	山口湾-樺野川河口域（瀬戸内海）
活動内容・計画	<p>活動の内容、スケジュール等を簡潔に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、説明資料を添付してください。 ・予算の各費用項目を使用する内容がわかるように記入してください。 ・調査研究等の成果を学会等において発表される場合は、その学会名や時期等を記入してください。 <p>本研究調査は、干潟の鍵種である「アサリ」等砂浜性二枚貝を介して、相互に密接に関係した以下の2パートより構成される。</p> <p>1. 魚類の生態に関する調査</p> <p>主に、クロダイ、トラフグ、ニホンウナギ（絶滅危惧IB類）など水産・環境重要魚類の食性調査を行う。アサリなど砂浜性二枚貝（基礎生産者のろ過食者）を重要な餌資源としていることから、それらの捕食（食害）状況も把握する。必要に応じ、DNAを用いた種同定、生体元素の安定同位体を用いた食物網・元素起源の推定などを行う。魚類から見た流域圏・干潟生産構造の把握を試みる。</p> <p>2. 干潟環境に関する調査</p> <p>農業関係では、田畑の土壤環境評価に、そこに生息する微小動物である線虫を生物指標として用いている。線虫は嗅覚に優れイヌの1.5倍もの嗅覚受容体・遺伝子を持つ。我々は、陸地の延長である干潟への適用を模索している。これまでの現場調査により、マクロベントス（ほとんどがアサリ）と線虫の現存量には正の相関関係があることを明らかにしている。昨年度の実験では、3か月間ではアサリが線虫類の個体数や科組成に及ぼす影響は顕著ではなかったが、マクロベントスと線虫の個体数には関連性がうかがえた。今年度も引き続きアサリと線虫の関係について実験的に検証するとともに、アサリの成育環境を好む指標種となる線虫類を検出する。DNAによる種同定、CHN（元素）分析や粒度組成分析による泥質分析などの手法を用いる。</p> <p>これらの調査研究の成果に基づき、日本水産学会大会（日本水産学会、4月、10月）等での発表を予定している。併せて、干潟観察会や出前授業、マスコミ対応などを通じて、地域社会への貢献を果たしたい。</p>

3. 活動予算

申請金額	20 万円	
予算の支出 期間	2020 年 4 月 ～ 2021 年 3 月 ※ 対象となる活動は 2020 年度内に実施されるものに限りませんが、当該活動の実施のみに必要な経費であって、既に支出した備品・消耗品費、広告費等については支援の対象とします(旅費・宿泊費・謝金を除く。)	
希望する 支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (20 万円)	
支出予算	応募案内中の表 1 : ①～⑦の項目ごとに記入してください。	
	区分	予算額(円)
	①旅費・宿泊費	41,700 円
	②備品・消耗品費	55,000 円
	⑥事務管理費	15,000 円
	③印刷費	20,000 円
	⑦その他	68,300 円
	合計	200,000 円

区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
①旅費・宿泊費	41,700 円	広島-山口(公用車・高速道、日帰り): 2,200 円×6 回×2 名=26,400 円、学会: 15,300 円 (1泊2日)×1回
②備品・消耗品費	55,000 円	サンプル容器、試薬、採集器具、解剖・測定器具、書籍購入等
⑥事務管理費	15,000 円	事務用品費、郵送費、印刷・製本費等
③印刷費	20,000 円	論文別刷代
⑦その他	68,300 円	試料分析費(プライマー合成、DNA シーケンス、同位体等)、英文校正費
合計	200,000 円	

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	干潟・水産資源再生ワーキンググループ 後藤 益滋
--------	-----------------------------

2. 活動計画

活動区分	■ 調査研究・モニタリング
活動名	干満差の大きい干潟における環境 DNA のサンプリング方法の検討
活動目的	環境 DNA 技術を援用するにあたり、干満差の大きい干潟における最適なサンプリングのタイミングの検討と提案をするため
活動場所	山口湾南潟及びその周辺海域
活動内容 ・計画	<p>昨年度は、アサリのモニタリングが環境 DNA による手法で検討を行った。バイオマスとは一定の傾向がみられることが判明したが、サンプリングはサンプル採取がしやすい干潮時に限定していたこと、水が採取できる場所が限定されていること、干満差による攪拌による影響の有無、この3点については、検討課題として残されている。そこで本年度は以下の内容で、この問題解決に取り組みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象生物 アサリ ●本年度の検討事項について <ul style="list-style-type: none"> ① サンプル採取時のタイミング（干潮時、上げ潮時、下げ潮時、潮止まり） ② 産卵時期の推定・・・産卵時期の推定を行える遺伝子領域の検討及び現地モニタリング ③ 昨年度からの継続調査 ●時期 <ul style="list-style-type: none"> ① 春季、夏季、秋季、冬季の4季 ② 産卵期は、春季、秋季のどちらか2季 ③ サンプリングタイミングの検討、活動期（春季、夏季、秋季のうち、1季） <p>支出予算の中身は、主に現地サンプリング及び解析の消耗品（試薬類）が中心である。</p>

3. 活動予算

申請金額	200,000 円	
予算の支出期間	2020 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
希望する支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (200,000 円)	
支出予算	応募案内中の表 1 : ①～⑦の項目ごとに記入してください。	
	区分	予算額(円)
	消耗品	26,000
	消耗品	50,000
	消耗品	31,000
	消耗品	44,000
	消耗品	28,000
	消耗品	18,000
	消耗品	3,000
	合計	200,000

1. 申請者（活動実施者）

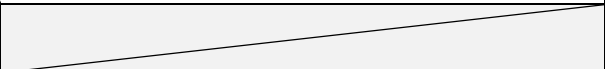
氏名・団体名	カブトガニワーキンググループ リーダー 原田 直宏（山口カブトガニ研究懇話会）
--------	--

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	カブトガニ幼生生息調査・観察会
活動目的	山口湾は、絶滅危惧Ⅰ類「カブトガニ」の産卵場・生息場として全国的にも重要な地域である。干潟におけるカブトガニ幼生の生息状況等を調査することで、生息や産卵に適した環境の再生・保全に寄与する。
活動場所	山口湾干潟（長浜・南潟）
活動内容・計画	<p><概要></p> <p>長浜及び南潟において、夏季の干潮時に年1回ずつ、県内外のボランティアや山口大学等の協力を受け、カブトガニ幼生の生息状況を調査する（2008年度から継続）。また、子ども等を対象にしたカブトガニ観察会を開催し、山口湾の自然や生き物に対する関心を高めるための啓発を行う。2020年7月頃から参加者募集の広報、関係者との調整を開始予定。</p> <p><調査方法></p> <p>調査は、ベルトランセクト法により実施する。区域内に1kmの調査ラインを複数（長浜区：20ライン、南潟区：5ライン）設定し、調査者は、ライン上を歩きながら、発見したカブトガニの①個体数、②前体幅（齢数を推定するため）、③発見地点（GPSを使用）を記録する。長浜の調査は2020年8月下旬に50人程度で、南潟の調査は2020年9月上旬に20人程度で実施する。</p>
	

3. 活動予算

申請金額	200,000 円	
予算の支出期間	2020年7月 ～ 2020年9月 ※ 対象となる活動は2020年度内に実施されるものに限りませんが、当該活動の実施のみに必要な経費であって、既に支出した備品・消耗品費、広告費等については支援の対象とします(旅費・宿泊費・謝金を除く。)	
希望する支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (200,000 円)	
支出予算	応募案内中の表1: ①～⑦の項目ごとに記入してください。	
	区分	予算額(円)
	印刷費	2,500
	保険料	2,400
	消耗品費	18,000
	消耗品費	30,000
	消耗品費	7,000
	使用料	8,100
	備品費	132,000
	合計	200,000



1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	持続可能な里海づくりワーキンググループ リーダー 船崎 美智子（株式会社ライフスタイル研究所）
--------	--

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 活動等の広報及び啓発活動 <input checked="" type="checkbox"/> 募金の運営・広報
活動名	榎野川河口干潟等における里海再生活動の共感者増加に向けた取組
活動目的	①ふしの干潟いきもの募金に対する住民等からの寄付の促進 ②干潟や活動等の普及啓発
活動場所	関連イベント（きらら浜自然観察公園等）
活動内容 ・計画	<p>①関連イベントにおける募金活動 榎野川河口干潟等における関連イベントにおいて募金活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎野川河口干潟再生活動 2020 においては、山口県立大学や水産大学の学生等と連携し、参加者に対して募金の呼びかけを行う。 ・きらら浜自然観察公園のふれあい祭り等においては、参加料が募金に寄付される子ども向けのゲームを出展する。 <p>②干潟等に関するグッズ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干潟の生き物等をデザインにしたグッズ（クリアファイル等）を作成し、寄付者やイベント参加者に配布することで、干潟や活動等の普及啓発を行う。 ・グッズには、募金の協力企業名を記載し、企業の社会貢献を PR する。 ・グッズ作成に当たっては、地元小学校等との連携を検討する。 <p>5月：連携先との調整 6月～11月：デザイン作成 12月～1月：完成</p>

3. 活動予算

申請金額	80,000 円		
予算の支出期間	2020年6月 ～ 2021年2月 ※ 対象となる活動は2020年度内に実施されるものに限りませんが、当該活動の実施のみに必要な経費であって、既に支出した備品・消耗品費、広告費等については支援の対象とします(旅費・宿泊費・謝金を除く。)		
希望する支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (67,000 円)		
支出予算	応募案内中の表1: ①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	
	内訳(積算根拠)		
	消耗品費	2,000	ゲーム用のぷよぷよボール (500円×4袋)
	消耗品費	5,000	ゲーム用の衣装ケース等
	印刷費	60,000	クリアファイル (1,000部)
	消耗品費	13,000	PR用グッズ (100部)
	合計	80,000	

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	榎野川流域連携促進協議会 会長 西嶋 裕作
--------	-----------------------

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動
活動名	榎野川河口干潟再生活動 2020
活動目的	地域住民・企業・大学等のボランティアの協力を受け、干潟耕耘作業やアサリ再生活動を実施し、干潟環境の改善を図るとともに、地域住民等の親水性の向上等に寄与する。
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
活動内容 ・計画	<p>本団体は、2008年度から南潟において住民参加型の干潟再生活動（干潟耕耘等）を実施している。活動は、例年春にイベント形式で開催し、地域住民、企業、大学等の多くのボランティアの協力を受けている。2020年度は以下のとおり実施する。</p> <p><イベントの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施日：2020年秋頃 ● 場 所：榎野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 主 催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 協 賛：あいおいニッセイ同和損害保険(株) 協 力：あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、(株)伊藤園山口支店、(株)積水ハウス山口工場、水産大学校、山口大学、山口県立大学等 ● 参加者：200人程度（募集） ● 内 容 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染予防の徹底をしながら、例年実施している自然再生活動のイベントを工夫して実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・あさり再生活動 <ul style="list-style-type: none"> あさりの食害等を防ぐための“被覆網”を干潟に設置する。 （干潟耕耘（干潟底質の軟質化、嫌気化の改善等を図るため、クワ等で干潟を耕す。）は、過去に、秋は耕うんの効果がないと整理されており、実施可否を検討する。） <p>※例年実施していた以下の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施できない可能性が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎野川の恵みを味わう試食会 ・生き物観察会 <p>また、潮干狩りも9月以降は禁漁期間に該当するため、実施できない。</p>

3. 活動予算

申請金額	200,000 円	
予算の支出期間	2020年4月 ～ 2020年12月 ※ 対象となる活動は2019年度内に実施されるものに限りませんが、当該活動の実施のみに必要な経費であって、既に支出した備品・消耗品費、広告費等については支援の対象とします(旅費・宿泊費・謝金を除く。)	
希望する支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input type="checkbox"/> 概算払い (円)	
支出予算	応募案内中の表1: ①～⑦の項目ごとに記入してください。	
	区分	予算額(円)
	印刷費	10,000
	印刷費	4,000
	保険料	6,000
	賃借料	120,000
	消耗品費	30,000
	消耗品費	30,000
	合計	200,000 円

1. 申請者（活動実施者）

氏名・団体名	榎野川河口域・干潟自然再生協議会
--------	------------------

2. 活動計画

活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング																		
活動名	被覆網のメンテナンス・交換																		
活動目的	<p>榎野川河口干潟（南潟）において、実証試験や干潟再生活動を通じて、現在、274枚、2,360㎡の被覆網を設置している。</p> <p>近年、被覆網の設置枚数が増加し、定期的に被覆網をメンテナンス（洗浄）して再利用しているが、老朽化が著しく、破損したものが増加しており、被覆網を用いた調査やアサリの再生活動に支障が生じつつある。</p> <p>特に、アサリの再生は、ふしの干潟いきもの募金の寄付者が活動成果を実感できる仕組みづくりとして重要な位置づけであり、干潟再生活動やモニタリング等の機会に、ふしの干潟ファンクラブ等のボランティアに御協力いただき、被覆網を交換する。</p>																		
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）																		
活動内容・計画	<p><被覆網のメンテナンス・交換活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の被覆網の設置時期、枚数等は、下表のとおり。 被覆網の設置場所の調査状況及び破損状況等を確認し、被覆網の交換場所をWG委員間で協議し、干潟再生活動やモニタリング等の機会に、ふしの干潟ファンクラブや一般ボランティアの協力を得ながら、被覆網を交換する。 破損せず、藻が付着しているのみの被覆網は、メンテナンス（洗浄）し、再利用する。 <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>南潟における被覆網の設置枚数・面積</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>網の枚数</th> <th>面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016.3</td> <td>78</td> <td>1,170</td> </tr> <tr> <td>2017.3</td> <td>77</td> <td>1,155</td> </tr> <tr> <td>2018.3</td> <td>160</td> <td>1,658</td> </tr> <tr> <td>2019.3</td> <td>241</td> <td>2,172</td> </tr> <tr> <td>2020.3</td> <td>274</td> <td>2,360</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年次	網の枚数	面積 (㎡)	2016.3	78	1,170	2017.3	77	1,155	2018.3	160	1,658	2019.3	241	2,172	2020.3	274	2,360
年次	網の枚数	面積 (㎡)																	
2016.3	78	1,170																	
2017.3	77	1,155																	
2018.3	160	1,658																	
2019.3	241	2,172																	
2020.3	274	2,360																	

3. 活動予算

申請金額	200,000円程度（物品購入費として支出）		
予算の支出期間	2020年5月～2021年2月		
希望する支払方法	希望する支払方法に <input checked="" type="checkbox"/> してください(概算払いを希望される場合は、その金額)。 <input type="checkbox"/> 精算払い(全額) <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い(200,000円)		
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	消耗品費	200,000	被覆網(3m×3m) 40枚
	合計	200,000	